

凡例

・「必須」、「準必須」、「アクセスポイント」「繰り返し」について

必須項目＝○: 入力が必要となる項目

準必須項目＝○: 書誌同定処理(※)を行う際に使用され、必須となる項目

準必須項目＝●: タイトル、出版者、出版年は併せて一つとして書誌同定処理に使用される

アクセスポイント＝○: 当該書誌が基本書誌(※)となった場合に、検索に使用される項目

繰り返し＝R: 繰り返しが可能な項目、NR: 繰り返しが不可能な項目

書誌情報(本表項番2-1～2-121)の第4、5階層のプロパティの値は、上位の第3階層が出現した場合の値とする。

例) "タイトル(dc:title)"の場合

上位階層 → dc:title(第3階層)は「R(繰り返し可)」

下位階層 → rdf:value(第5階層)は「NR(繰り返し不可)」

「rdf:value」は下位階層のため、上位階層「dc:title」の記載が必要となる。

※書誌同定処理とは、複数の機関で所蔵している同一の資料をまとめて表示するNDLサーチの機能のこと。

以下に示す7項目に対して、順に抽出・集約を行い書誌を同定する。

① 国立国会図書館書誌ID

② Newspaper_id

③ 全国書誌番号

④ TRCMARC番号

⑤ NS-MARC番号

⑥ ISBN+出版年+タイトルの1文字目

⑦ タイトル+出版者+出版年

①の出力結果を②の入力とし、②の出力結果を③の入力とする、というように段階的に処理を行う。

※基本書誌とは、書誌同定処理において他の書誌が集約される同定先の書誌のこと。

書誌同定処理対象書誌にNDL-OPACの書誌が含まれる場合、NDL-OPACの書誌が基本書誌となる。

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)											
	ファイル群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	アクセスポイント	繰り返す	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。		
								第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性	
1-1					○		NR	xml							XML文書であることを宣言	<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
1-2					○		NR	rdf:RDF							文書のルート要素	<rdf:RDF xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#" xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#" xmlns:dc="http://purl.org/dc/elements/1.1/" xmlns:dcterms="http://purl.org/dc/terms/" xmlns:dndi="http://ndl.go.jp/dndi/terms/" xmlns:foaf="http://xmlns.com/foaf/0.1/" xmlns:owl="http://www.w3.org/2002/07/owl#">
1-3					○		NR	dndi:BibAdminResource							管理データの主題	<dndi:BibAdminResource rdf:about="#●●●"> ●●●の部分は、以下のように取めます。 ●●●レコード単位で一意(ユニーク)となる書誌詳細画面URLがある場合 → 書誌詳細画面URL ●●●レコード単位で一意(ユニーク)となる書誌詳細画面URLがない場合 例) 正本と複製が同じ書誌詳細画面URLを持つ場合 など → 書誌詳細画面URL+提供元機関で複製を一意に特定するための識別子 ●●●の部分はNDLサーチに格納される際に、http://iss.ndl.go.jp/books/情報探索IDという形に変換され、NDLサーチ書誌詳細画面のURLとなります。 ゆにかねっとデータ提供館の場合、情報探索IDの形式は「R10000001-1+数字可変長-00」となります。 ※R10000001はゆにかねっとデータ提供館共通のリポジトリ番号です。
1-4					○		NR	dndi:BibRecordCategory							書誌レコードのカテゴリ	「R10000001」(ゆにかねっとデータ提供館共通のリポジトリ番号)を取めます。 <dndi:BibRecordCategory>R10000001</dndi:BibRecordCategory>
1-5					○		NR	dndi:Record							管理データから書誌データへのリンク	<dndi:BibResource rdf:about="#●●●#material"> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#materialを付けて取めます。
2-1					○		NR	dndi:BibResource							書誌データの主題	<dndi:BibResource rdf:about="#●●●#material"> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#materialを付けて取めます。
2-2	020 090	全国書誌番号	020B, 090A, 090B.	全国書誌番号											レコード番号 (URI): JP番号	020Bの値(または、090Aの値が「JP」の場合は090Bの値)をURIに変換して取めます。 【例】090A JP 090B 91021340 →[DC-NDL入力例] <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/pno/91021340"/> ※※「UR形式」と「リテラル形式」の記録について、①※※ JP番号等の書誌データを一意に特定できる識別子は、「リテラル形式(=文字列による記録)」だけでなく、「UR形式」でも記述しています。これは、JP番号等の主要な識別子を、ウェブ上の情報を一意に表すための識別子であるURIにより定義することで、ウェブ上での検索(データの特定)や、異なるデータとの統合(リンク)などを容易にすることを目的としています。 DC-NDLにおいては、「JP番号」、「ISBN」、「ISSN」をこのように両方の形式で記述しています。 一分類記号の記録については項番2-9を参照ください。
2-3	020 090	全国書誌番号	020B, 090A, 090B.	全国書誌番号											レコード番号 (リテラル): JP番号	020Bの値(または、090Aの値が「JP」の場合は090Bの値)を、データ型「dndi:JPNO」を指定して取めます。 【例】090A JP 090B 91021340 →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/JPNO">91021340</dcterms:identifier>
2-4	090	マーク番号等	090A, 090B.	マーク等種別マーク番号											レコード番号 (リテラル): TRCMARC番号	090Aの値が「JLAJ」の場合、データ型「dndi:TRCMARCNO」を指定して、090Bの値を取めます。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/TRCMARCNO">TRCMARCNOの値</dcterms:identifier>
2-5	090	マーク番号等	090A, 090B.	マーク等種別マーク番号											レコード番号 (リテラル): NS-MARC番号	090Aの値が「NSMARCNO」の場合、データ型「dndi:NSMARCNO」を指定して、090Bの値を取めます。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/NSMARCNO">NSMARCNOの値</dcterms:identifier>
2-6	090	マーク番号等	090A, 090B.	マーク等種別マーク番号											レコード番号 (リテラル): OPL-MARC番号	090Aの値が「OPLMARCNO(大阪屋マーク)」の場合、データ型「dndi:OPLMARCNO」を指定して、090Bの値を取めます。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/OPLMARCNO">OPLMARCNOの値</dcterms:identifier>
2-7	090	マーク番号等	090A, 090B.	マーク等種別マーク番号											レコード番号 (リテラル): 紀伊国屋MARC番号	090Aの値が「KNMARCNO」の場合、データ型「dndi:KNMARCNO」を指定して、090Bの値を取めます。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/KNMARCNO">KNMARCNOの値</dcterms:identifier>
2-8	090	マーク番号等	090A, 090B.	マーク等種別マーク番号											レコード番号 (リテラル): NACSIS-CATレコードID	090Aの値が「NII」の場合、データ型「dndi:NIIbibID」を指定して090Bの値を取めます。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/NIIbibID">NIIbibIDの値</dcterms:identifier>
2-9-1	010	国際標準図書番号	010A.	ISBN											標準番号 (URI): ISBN	010Aの値をURIに変換して取めます。値中に出現する「-」(ハイフン)は削除します。 【例】010A 978-4-88621-559-8 →[DC-NDL入力例] <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/isbn/9784886215598"/>
2-9-2															標準番号 (URI): ISBN(セットコード)	ISBN末尾に「(set)」の文字列がある場合URIに変換して取めます。値中に出現する「-」(ハイフン)は削除します。 【例】4-87742-783-X(set) →[DC-NDL入力例] <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/setisbn/487742783X"/>
2-10	011	国際標準逐次刊行物番号	011A.	ISSN											標準番号 (URI): ISSN	011Aの値をURIに変換して取めます。値中に出現する「-」(ハイフン)は削除します。 【例】011A 1001-2401 →[DC-NDL入力例] <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/issn/10012401"/>
2-11	28n (n=1~3)	シリーズに関する事項	28nX.	シリーズのISSN											標準番号 (URI): シリーズのISSN	28nXの値をURIに変換して取めます。値中に出現する「-」(ハイフン)は削除します。 【例】281X 1001-1024 →[DC-NDL入力例] <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/issn/10011024"/>
2-12-1	010	国際標準図書番号	010A.	ISBN											標準番号 (リテラル): ISBN	データ型「dndi:ISBN」を指定して、010Aの値をそのまま取めます。 【例】010A 978-4-88621-559-8 →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/ISBN">978-4-88621-559-8</dcterms:identifier>
2-12-2															標準番号 (リテラル): ISBN(セットコード)	ISBN末尾に「(set)」の文字列がある場合、データ型「dndi:SetISBN」を指定して、値をそのまま取めます。 【例】4-87742-783-X(set) →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/SetISBN">4-87742-783-X</dcterms:identifier>
2-13	010	国際標準図書番号	010Z.	ISBN(組)											標準番号 (リテラル): ISBN(エラーコード)	データ型「dndi:ErrorISBN」を指定して、010Zの値をそのまま取めます。 【例】010Z 4-9902917-1-9 →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/ErrorISBN">4-9902917-1-9</dcterms:identifier>
2-14	011	国際標準逐次刊行物番号	011A.	ISSN											標準番号 (リテラル): ISSN	データ型「dndi:ISSN」を指定して、011Aの値をそのまま取めます。 【例】011A 1001-2401 →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/ISSN">1001-2401</dcterms:identifier>
2-15	28n (n=1~3)	シリーズに関する事項	28nX.	シリーズのISSN											標準番号 (リテラル): シリーズのISSN	データ型「dndi:ISSN」を指定して、28nXの値をそのまま取めます。 【例】281X 1001-1024 →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/ISSN">1001-1024</dcterms:identifier>

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)										
	ファイル群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。	
								第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性
2-16	071	発売番号 (音楽録音・映像資料)	071A	発売番号								dc:terms:identifier	rdf:data:type	発売番号(録音・映像資料)	データ型 dc:ndi:RIS502 を指定して、071A の値をそのまま取ります。 【例】071A NSDS-9891 →【DC-NDL入力例】 <dc:terms:identifier rdf:data:type="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/RIS502" NSDS-9891 /> <dc:terms:identifier />
2-17	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nA, 25nB	本タイトルタイトル関連情報								dc:terms:title		タイトル	項番2-20で入力した値を取ります。 <dc:title>が複数ある場合は、"△"(ピリオド+スペース)の記号で連結して取ります。 【DC-NDL入力例】 <dc:terms:title>一つ目の値△二つ目の値</dc:terms:title> ※※「dc:title」と「dc:terms:title」の記録について※※ タイトルに関する情報は「dc:title」と「dc:terms:title」の2箇所に重複して記述しています。 「dc:title」と「dc:terms:title」は以下のように使い分けています。 「dc:title」: タイトルと読みをセットで記述する(構造化する場合)に使用 「dc:terms:title」: タイトルのみを文字列で記述する場合に使用 「dc:terms:title」は、箇の範囲をリテラル(文字列)に制約されており、読みとセットでの記述ができないため、上記のような使い分けをしています。また、タイトルが複数ある場合は連結して1つのタグに取めることで、データの利用が容易になるという利点も考えられることから、タイトルに関する情報用途によって使い分けていた だけよう、2種類の形式でデータを収めています。
2-18												dc:title			
2-19												rdf:Description			
2-20	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nA, 25nB	本タイトルタイトル関連情報									rdf:value	タイトル	【例】251A 灯火の歴史 251B 机の上の太陽 →【DC-NDL入力例】 <dc:title> <rdf:Description> <rdf:value>灯火の歴史: 机の上の太陽</rdf:value> </rdf:Description> </dc:title> ①25nA と25nB を"△△"で連結して取ります。 <rdf:value>25nA の値△△25nB の値</rdf:value> ②25nB が複数ある場合は、25nB を△△で繰り返し取ります。 <rdf:value>25nA の値△△25nB の値△△25nB の値</rdf:value>
2-21	55n (n=1~9)	タイトル欄目 (タイトル関連情報の読み等を含む)	55nA	カタカナ形 (正規化)								dc:ndi:transcription		タイトルよみ	【例】55nA トウカノレキシ: ツクエノウエノタイヨウ →【DC-NDL入力例】 <dc:title> <rdf:Description> <rdf:value>灯火の歴史△△机の上の太陽</rdf:value> <dc:ndi:transcription>トウカノレキシ: ツクエノウエノタイヨウ</dc:ndi:transcription> </rdf:Description> </dc:title> ※読みが2つ以上ある場合、1つ目の読みのみをDC-NDL項目に取ります。2つ目以降の読みは取れません。
2-22												dc:ndi:volume			
2-23												rdf:Description			
2-24	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nD	巻次、回数、年次等									rdf:value	巻次・部番号	【例】25nD 第4巻 →【DC-NDL入力例】 <dc:ndi:volume> <rdf:Description> <rdf:value>第4巻</rdf:value> </rdf:Description> </dc:ndi:volume> ※本タイトルが複数ある場合、25nD は「dc:title」に"△"(ピリオド+スペース)の記号で連結して取ります。 <rdf:value>25nA の値△△25nB の値△△25nD の値</rdf:value>
2-25	55n (n=1~9)	タイトル欄目 (タイトル関連情報の読み等を含む)	55nD	巻次等のよみ (正規化)								dc:ndi:transcription		巻次・部番号よみ	【例】55nD ダイ4カン →【DC-NDL入力例】 <dc:ndi:volume> <rdf:Description> <rdf:value>第4巻</rdf:value> <dc:ndi:transcription>ダイ4カン</dc:ndi:transcription> </rdf:Description> </dc:ndi:volume> ※本タイトルが複数ある場合、55nD は本タイトルよみに連結して取ります。 本タイトルが複数あり、かつ55nD が2つ以上ある場合は、1つ目の読みのみをDC-NDL項目に取ります。2つ目以降の読みは取れません。
2-26												dc:ndi:alternative			
2-27												rdf:Description			
2-28	261	並列タイトルに関する事項	261A	並列タイトル									rdf:value	別タイトル	値をそのまま取ります。 【例】261A Origin hand book →【DC-NDL入力例】 <dc:ndi:alternative> <rdf:Description> <rdf:value>Origin hand book</rdf:value> </rdf:Description> </dc:ndi:alternative>
2-29												dc:ndi:alternative			
2-30												rdf:Description			
2-31	354	原タイトル注記	354A	翻訳資料の原タイトル									rdf:value	別タイトル	値をそのまま取ります。 【例】354A Nostalgia of hope and sentiment →【DC-NDL入力例】 <dc:ndi:alternative> <rdf:Description> <rdf:value>Nostalgia of hope and sentiment</rdf:value> </rdf:Description> </dc:ndi:alternative>
2-32												dc:ndi:alternative			
2-33												rdf:Description			
2-34	590	その他のタイトル欄目	590B	漢字形 (正規化)									rdf:value	別タイトル	値をそのまま取ります。 【例】590B Б р а т ь я К а р а м а з о в ы →【DC-NDL入力例】 <dc:ndi:alternative> <rdf:Description> <rdf:value>Б р а т ь я К а р а м а з о в ы</rdf:value> </rdf:Description> </dc:ndi:alternative>
2-35												dc:ndi:seriesTitle			
2-36												rdf:Description			
2-37	2版: 280 3版: 28n (n=1~3)	シリーズに関する事項	2版: 280A, 280B, 3版: 28nA, 28nB, 28nD	本シリーズ名 シリーズ名 関連情報 シリーズ番号									rdf:value	本シリーズ名 シリーズ名 関連情報 シリーズ番号	28nA、28nB、"△△"で、28nD を"△△"で連結して取ります。 【例】281A 日本歴史叢書 281B 新装版 281D 第1巻 →【DC-NDL入力例】 <dc:ndi:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>日本歴史叢書: 新装版: 第1巻</rdf:value> </dc:ndi:seriesTitle>

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)										
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。	
								第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性
2-38	2版: 580 3版: 58n (n=1~3)	シリーズの タイトル標 目 (下位シ リーズ及 び タイトル 間 連 続 情 報 の 読 み 等 を き む)	2版: 580A, 580D, 3版: 58nA, 58nD.	カタカナ形 (正規化) 巻次等のよ み(正規化)								dndi:tra nscriptio n	シリーズタイトル よみ シリーズ番号よ み	58nA、58nDを“△”で連結して取ります。 【例】581A ニホン レキシ ソウショ シンソウバン 581D.ダイ1カン →[DC-NDL入力例] <dndi:seriesTitle> </dndi:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>日本歴史叢書：新装版：第1巻</rdf:value> <dndi:transcription>ニホン レキシ ソウショ シンソウバン：ダイ1カン</dndi:transcription> </dndi:seriesTitle>	
2-39												dndi:seri esTitle			
2-40												rdf:Descri ption			
2-41	2版: 280 3版: 28n (n=1~3)	シリーズに 関する事項	2版: 280D, 280F, 3版: 28nS, 28nT.	下位シリー ズ名 下位シリー ズ番号								rdf:value	下位シリーズ名 下位シリーズ番 号	28nS、28nTを“△”で連結して取ります。 【例】28nS ベイカー少年探偵団 28nT.3 →[DC-NDL入力例] <dndi:seriesTitle> </dndi:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>ベイカー少年探偵団.3</rdf:value> </dndi:seriesTitle>	
2-42	2版: 580 3版: 58n (n=1~3)	シリーズの タイトル標 目 (下位シ リーズ及 び タイトル 間 連 続 情 報 の 読 み 等 を き む)	2版: 580A, 580D, 3版: 58nA, 58nD.	カタカナ形 (正規化) 巻次等のよ み(正規化)								dndi:tra nscriptio n	下位シリーズ名 よみ 下位シリーズ番 号よみ	58nA、58nDを“△”で連結して取ります。 【例】581A ベイカー少年探偵団 タンテイダン 580D.3 →[DC-NDL入力例] <dndi:seriesTitle> </dndi:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>ベイカー少年探偵団.3</rdf:value> <dndi:transcription>ベイカー少年探偵団.3</dndi:transcription> </dndi:seriesTitle>	
2-43												dndi:part informatio n			
2-44												rdf:Descri ption			
2-45	377	内容に関する注記	377A	内容に関する注記								dcterms:t itle	内容に関する注記	内容:』という文字列を削除し、“/”(スラッシュ)の前までの値を取ります。 【例】377A 内容:西鶴権留/井原西鶴/著:北条団水//編 →[DC-NDL入力例] <dndi:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>西鶴権留</dcterms:title> </rdf:Description> </dndi:partInformation> <dndi:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>西鶴文反古</dcterms:title> </rdf:Description> </dndi:partInformation>	
2-46												dndi:part informatio n			
2-47												rdf:Descri ption			
2-48	577	内容細目 (タイトル)	577B	漢字形 (正規化)								dcterms:t itle	内容細目	577A、577Bの値をそれぞれ取ります。 【例】577A ポツチャン 577B 坊ちゃん 577A オオゴモリ 577B 大つごもり →[DC-NDL入力例] <dndi:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>坊ちゃん</dcterms:title> <dndi:transcription>ポツチャン</dndi:transcription> </rdf:Description> </dndi:partInformation>	
2-49	577	内容細目 (タイトル)	577A	カタカナ形 (正規化)								dndi:tra nscriptio n	内容細目よみ	<dndi:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>大つごもり</dcterms:title> <dndi:transcription>オオゴモリ</dndi:transcription> </rdf:Description> </dndi:partInformation>	
2-50												dndi:part informatio n			
2-51												rdf:Descri ption			
2-52	777	内容細目 (著者)	777B	漢字形 (正規化)								dc:creato r	内容細目の著者	777Bの値を取ります。姓名の間の“ ”は削除して取ります。 【例】777A ナツムツクセキ 777B 夏目漱石 777A ヒガチ、イチコウ 777B 樋口一葉 →[DC-NDL入力例] <dndi:partInformation> <rdf:Description> <dc:creator>夏目漱石</dc:creator> </rdf:Description> </dndi:partInformation> <dndi:partInformation> <rdf:Description> <dc:creator>樋口一葉</dc:creator> </rdf:Description> </dndi:partInformation>	

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)																			
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。									
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性								
2-53																								
2-54																								
2-55	29n (n=1~9)	多巻ものの各巻のタイトルと責任表示に関する事項	29nA, 29nB, 29nD.	タイトル タイトル関連情報 巻次、目次、年次等																				多巻ものの各巻のタイトル 29nA、29nB、△△で、29nDを△△で連結して取めます。 【例】291A D. H. ロレンス 291B 素人の研究 291D 下巻 →[DC-NDL入力例] <dndipartInformation> <rdfDescription> <dcterms:title>D. H. ロレンス : 素人の研究 下巻</dcterms:title> </dndipartInformation>
2-56	59n (n=1~9)	多巻ものの各巻のタイトル タイトル関連情報 の読み等を含む)	59nA, 59nD.	カタカナ形 (正規化) 巻次等の読み(正規化)																				多巻ものの各巻のタイトル読み 59nA、59nDを△△で連結して取めます。 【例】591A D. H. ロレンス 591D ゲガン →[DC-NDL入力例] <dndipartInformation> <rdfDescription> <dcterms:title>D. H. ロレンス : 素人の研究 下巻</dcterms:title> <dnditranscription>D. H. ロレンス、ゲガン</dnditranscription> </rdfDescription> </dndipartInformation> ※タイトルと読みは、nの値でセットにて取めます(291と591、292、592以降も同様)。 ※読みが複数ある場合は、1つ目の読みのみを291Aに対応させて取めます。2つ目以降の読みは取れません。
2-57	29n (n=1~9)	多巻ものの各巻のタイトルと責任表示に関する事項	29nF.	責任表示																				多巻ものの各巻の責任表示 役割表示が「 」でつながれている場合、「責任表示△役割表示」と「 」を△「半角スペース」へ変換して取めます。 【例】29nF. アナイス・ニン // 著 →[DC-NDL入力例] <dndipartInformation> <rdfDescription> <dcterms:title>D. H. ロレンス : 素人の研究 下巻</dcterms:title> <dnditranscription>D. H. ロレンス、ゲガン</dnditranscription> <dcterms:creator>アナイス・ニン 著</dcterms:creator> </rdfDescription> </dndipartInformation>
2-58	265	版に関する事項	265A.	版表示等																				版表示 値をそのまま取ります。 【例】265A 改訂版 →[DC-NDL入力例] <dndiedition>改訂版</dndiedition> ※265Aが複数ある場合は、入っている順番通りに連結して取ります。区切り記号やスペースは挿入しません。
2-59																								75n、75nAの値を取ります。75nBの姓名の間の「 」は削除して取ります。 【例】751A ナツメソウセキ 751B 夏目漱石 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-60																								75n、75nAの値を取ります。75nBの姓名の間の「 」は削除して取ります。 【例】751A ナツメソウセキ 751B 夏目漱石 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-61	75n (n=1~9)	著者標目	75nB.	漢字形 (正規化)																				著者標目 ※※[dcterms:creator]と[dcterms:creator]の記録について※※ 著者に関する情報は「dcterms:creator」と「dcterms:creator」の2箇所に記載しています。 これは、主に著者標目と責任表示をそれぞれ書き分けて記述するためのです。 「dcterms:creator」と「dcterms:creator」は以下のように使い分けています。 →主に「著者標目」に使用 →主に「責任表示」に使用(役割表示を含んで責任表示の情報そのまま転記する)
2-62	75n (n=1~9)	著者標目	75nA.	カタカナ形 (正規化)																				著者標目読み ※※[dcterms:creator]と[dcterms:creator]の記録について※※ 著者に関する情報は「dcterms:creator」と「dcterms:creator」の2箇所に記載しています。 これは、主に著者標目と責任表示をそれぞれ書き分けて記述するためのです。 「dcterms:creator」と「dcterms:creator」は以下のように使い分けています。 →主に「著者標目」に使用 →主に「責任表示」に使用(役割表示を含んで責任表示の情報そのまま転記する)
2-63																								78nB、78nAの値を取ります。78nBの姓名の間の「 」は削除して取ります。 【例】78nA ナツメソウセキ 78nB 夏目漱石 78nA ヒゲチ、イテヨウ 78nB 樋口一葉 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-64																								78nB、78nAの値を取ります。78nBの姓名の間の「 」は削除して取ります。 【例】78nA ナツメソウセキ 78nB 夏目漱石 78nA ヒゲチ、イテヨウ 78nB 樋口一葉 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-65	78n (n=1~3)	シリーズの著者標目	78nB.	漢字形 (正規化)																				シリーズ著者標目 <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-66	78n (n=1~3)	シリーズの著者標目	78nA.	カタカナ形 (正規化)																				シリーズの著者標目読み <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>樋口一葉</foafname> <dnditranscription>ヒゲチ、イテヨウ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-67																								78nB、78nAの値を取ります。78nBの姓名の間の「 」は削除して取ります。 【例】78nA ナツメソウセキ 78nB 夏目漱石 78nA ヒゲチ、イテヨウ 78nB 樋口一葉 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-68																								78nB、78nAの値を取ります。78nBの姓名の間の「 」は削除して取ります。 【例】78nA ナツメソウセキ 78nB 夏目漱石 78nA ヒゲチ、イテヨウ 78nB 樋口一葉 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-69	79n (n=1~9)	多巻ものの各巻著者標目	79nB.	漢字形 (正規化)																				多巻ものの各巻著者標目 <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-70	79n (n=1~9)	多巻ものの各巻著者標目	79nA.	カタカナ形 (正規化)																				多巻ものの各巻著者標目読み <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>樋口一葉</foafname> <dnditranscription>ヒゲチ、イテヨウ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-71																								777B、777Aの値を取ります。777Bの姓名の間の「 」は削除して取ります。 【例】777A ナツメソウセキ 777B 夏目漱石 777A ヒゲチ、イテヨウ 777B 樋口一葉 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-72																								777B、777Aの値を取ります。777Bの姓名の間の「 」は削除して取ります。 【例】777A ナツメソウセキ 777B 夏目漱石 777A ヒゲチ、イテヨウ 777B 樋口一葉 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-73	777	内容細目(著者)	777B.	漢字形 (正規化)																				内容細目の著者 <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>夏目漱石</foafname> <dnditranscription>ナツメソウセキ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-74	777	内容細目(著者読み)	777A.	カタカナ形 (正規化)																				内容細目の著者読み <dcterms:creator> <foafAgent> <foafname>樋口一葉</foafname> <dnditranscription>ヒゲチ、イテヨウ</dnditranscription> </foafAgent> </dcterms:creator>
2-75	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nF.	責任表示																				責任表示 値をそのまま取ります。 役割表示が「 」でつながれている場合、「責任表示△役割表示」と「 」を△「半角スペース」へ変換して取めます。 【例】251A 渋谷正 // 編訳 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator>渋谷正 編訳</dcterms:creator>
2-76	28n (n=1~3)	シリーズに関する事項	28nF.	シリーズに 責任表示																				シリーズ責任表示 値をそのまま取ります。 役割表示が「 」でつながれている場合、「責任表示△役割表示」と「 」を△「半角スペース」へ変換して取めます。 【例】281A カル・マルクス、フリードリヒ・エンゲルス // 著 →[DC-NDL入力例] <dcterms:creator>カル・マルクス、フリードリヒ・エンゲルス [著]</dcterms:creator>

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)											
	ファイル群	ファイル群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。		
								第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性	
2-77					●		R					dcterms:publisher				【例】270A 長野 270B. ほおずき書籍 270A 東京 270B 星雲社(発売) →[DC-NDL入力例] <dcterms:publisher> <foaf:Agent> <foaf:name>ほおずき書籍</foaf:name> <dndi:transcription>ほおずき ショセキ</dndi:transcription>
2-78					●		NR					foaf:Agent				<dndi:location>長野</dndi:location> <foaf:Agent> <dcterms:publisher> <dcterms:publisher> <foaf:Agent>
2-79	270	出版・頒布等に関する事項	270B.	出版者、頒布者等	●	○	NR					foaf:name	出版者、頒布者等			<dcterms:publisher> <dcterms:publisher> <foaf:Agent>
2-79-2					●	○	NR					dcterms:description	付記事項			<foaf:name>星雲社</foaf:name> ※3) <dcterms:description>発売</dcterms:description> ※1) <dndi:transcription>セイウンシャ</dndi:transcription> ※2) <dndi:location>東京</dndi:location> </foaf:Agent>
2-80	770	出版者のよみ	770A.	カタカナ形(正規化)		○	NR					dndi:transcription	出版者、頒布者等よみ			</dcterms:publisher>
2-81	270	出版・頒布等に関する事項	270A.	出版地、頒布地等			NR					dndi:location	出版地			※1) 270B. の値の末尾に「(発売)」or「(製作)」or「(制作)」or「(印刷)」or「(手製)」がある場合は、「発売」or「制作」or「印刷」or「手製」の文字列をdcterms:descriptionに取ります。270B. の値末尾からは削除します。 ※2) 770A. の値の末尾に「(ハツハイ)」or「(セイサク)」or「(インサツ)」or「(セイイ)」がある場合は、770A. の値から削除して取ります。 ※3) 270B. と770A. のセットが複数ある場合は、dcterms:publisherの単位で繰り返し取ります。 (1) 270A. 値① 270B. 値② 「①と②」をセットにする (2) 270A. 値① 270B. 値② 270A. 値③ 270B. 値④ 「①と②」「③と④」をセットにする (3) 270A. 値① 270B. 値② 270B. 値③ 「①と②」「①と③」をセットにする
2-82	102	出版国または製作した国	102A.	出版国コード			R					dndi:publicationPlace	出版地(国名コード)			データ型「dndi:ISO3166」を指定して値を取ります。 【例】102A JP →[DC-NDL入力例] <dndi:publicationPlace rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO3166">JP</dndi:publicationPlace> ※「ISO3166」(2桁)を用いた値を取ります。 「総合目録共通フォーマット(第3版)」の国名コードも、同じ「ISO3166」(2桁)を用いています。 ISO 3166-1 "Codes for the representation of names of countries and their subdivisions - Part 1: Country code"
2-83	100	一般的処理データ	100A.	刊行年(1)	●	○	R					dcterms:issued	出版年(西暦年)			データ型「dcterms:W3CDTF」を指定して値を取ります。 <dcterms:issued rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/W3CDTF">1975</dcterms:issued> ※W3CDTF形式を用いた値を取ります。 ※スペース等、値が数値以外の部分は数字の"0"に置き換えて取ります。 ※100A. の先頭10バイト目から4桁を取ります。
2-84	100	一般的処理データ	100A.	刊行年(2)	●	○	R					dcterms:issued	出版年(西暦年)			データ型「dcterms:W3CDTF」を指定して値を取ります。 <dcterms:issued rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/W3CDTF">2003</dcterms:issued>R84 ※W3CDTF形式を用いた値を取ります。 ※スペース等、値が数値以外の部分は数字の"0"に置き換えて取ります。 ※100A. の先頭14バイト目から4桁を取ります。
2-85	270	出版・頒布等に関する事項	270D.	出版年、頒布年等			R					dcterms:date	出版年月日等			値をそのまま取ります。 【例】270D. 2002.1 →[DC-NDL入力例] <dcterms:date>2002.1</dcterms:date>
2-86							R					dcterms:subject				658B. 658A. の値を取ります。 【例】658A ナベリヨリ 658B 餡料理 →[DC-NDL入力例] <dcterms:subject> <rdf:Description> <rdf:value>餡料理</foaf:name> </dndi:transcription>ナベリヨリ</dndi:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:subject>
2-87							NR					rdf:Description				
2-88	658	一般件名標目	658B.	漢字形(正規化)		○	NR					rdf:value	一般件名標目			
2-89	658	一般件名標目	658A.	カタカナ形(正規化)		○	NR					dndi:transcription	一般件名標目よみ			
2-90							R					dcterms:subject				658B. 658A. の値を取ります。650B. の姓名の間の「 」は「 」に置き換えて取ります。 【例】658A オダノブナガ(1534-1582) 658B 織田 信長(1534-1582) →[DC-NDL入力例] <dcterms:subject> <rdf:Description> <rdf:value>織田.信長(1534-1582)</foaf:name> </dndi:transcription>オダノブナガ(1534-1582)</dndi:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:subject>
2-91							NR					rdf:Description				
2-92	650	個人名件名標目	650B.	漢字形(正規化)		○	NR					rdf:value	個人名件名標目			
2-93	650	個人名件名標目	650A.	カタカナ形(正規化)		○	NR					dndi:transcription	個人名件名標目よみ			
2-94	685	国立国会図書館分類表(NDLIC)による分類記号	685A.	分類記号またはカナ付き分類記号		○	R					rdf:resource	NDLIC			685A. の値をURIに変換して取ります。 【例】685A GK8 →[DC-NDL入力例] <dcterms:subject rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/class/ndlic/GK8"/>
2-95	677	日本十進分類法(NDC)による分類記号	677A. 677V.	分類記号NDC版次			R					dcterms:subject	NDC(9版)			677V. の値が「9」のとき、677A. の値をURIに変換して取ります。 【例】677A 933.7 677V.9 →[DC-NDL入力例] <dcterms:subject rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/class/ndc9/933.7"/> ※※「R形式」と「リテラル形式」の記録について ※※※ 分類記号は「dcterms:subject」と「dc:subject」を使用して記述しています。 *dcterms:subjectは「dc:subject」は以下のように使い分けています。 *dcterms:subject: URIが付与されている場合 →NDC9版、およびNDLICに使用 ※URIが「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス(Web ND L Authorities)上で定義しています。 *dc:subject: URIが付与されておらず文字列で記述する場合 →NDC8版等に使用
2-96	677	日本十進分類法(NDC)による分類記号	677A. 677V.	分類記号NDC版次		○	R					dc:subject	NDC(8版)			677V. の値が「8」のとき、データ型「dndi:NDC8」を指定して677A. の値を取ります。 【例】677A 210.268 677V.8 →[DC-NDL入力例] <dc:subject rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/NDC8"> 210.268</dc:subject>
2-97	677	日本十進分類法(NDC)による分類記号	677A. 677V.	分類記号NDC版次		○	R					dc:subject	NDC			データ型「dndi:NDC」を指定して値を取ります。 <dc:subject rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/NDC">値</dc:subject> ※日本十進分類法(NDC)の6版の各マリエーションおよび版が不明なものは、版を区別せず取ります。
2-98	101	著作の言語	101A.	テキストの言語コード		○	R					dcterms:language	テキストの言語			データ型「dndi:ISO639-2」を指定して値を取ります。大文字は小文字に変換してください。 【例】101A JPN 101A ENG →[DC-NDL入力例] <dcterms:language rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2">jpn</dcterms:language> <dcterms:language rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2">eng</dcterms:language> ※「ISO639-2」を用いた値を取ります。 「総合目録共通フォーマット(第3版)」の言語コードも、同じ「ISO639-2」を用いています。 ISO 639-2 "Codes for the representation of names of languages - Part 2: Alpha-3 code"
2-99	101	著作の言語	101C.	原文の言語コード			R					dndi:originalLanguage	原文の言語			データ型「dndi:ISO639-2」を指定して値を取ります。大文字は小文字に変換してください。 【例】101A JPN 101C ENG →[DC-NDL入力例] <dcterms:language rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2">jpn</dcterms:language> <dndi:originalLanguage rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2">eng</dndi:originalLanguage> ※「ISO639-2」を用いた値を取ります。 「総合目録共通フォーマット(第3版)」の言語コードも、同じ「ISO639-2」を用いています。 ISO 639-2 "Codes for the representation of names of languages - Part 2: Alpha-3 code"
2-100	350	一般注記	350A.	一般注記			R					dcterms:description	注記			値をそのまま取ります。特定の導入句は付加しません。 ※350A. の値が「刊行頻度」で始まる場合は、「:」以降の値のみを<dndi:publicationPeriodicity>に取ります。 →項番2-114参照

総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)												
項番	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。	
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性
2-101	387	システム要件に関する注記(電子資料)	387A	システム要件注記			○	R				dcterms:description			システム要件注記	導入句「システム要件:」を付加して取めます。
2-102	269	電子資料の特性に関する事項	269A	電子的内容			○	R				dcterms:description			電子的内容	値をそのまま取めます(データ、画像データ、テキストデータ、プログラム等)。
2-103	386	電子的内容に関する注記	386A	電子的内容注記			○	R				dcterms:description			電子的内容に関する注記	値をそのまま取めます(電子ブック、HTML形式、Lha圧縮等)。
2-104	275	形態に関する事項	275A, 275B, 275E	特定資料種別と資料の数量・大きさ・付属資料				R				dcterms:extent			特定資料種別と資料の数量・大きさ・付属資料	区切り記号で連結して取めます。 275Aの値△、△275Bの値△+△275Eの値 【例】275A.182p 275B.26cm 275E.DVD-ROM2枚(12cm) →[DC-NDL入力例] <dcterms:extent>182p△;△26cm△+△ DVD-ROM2枚(12cm)</dcterms:extent>
2-105	360	装丁と定価に関する注記	360A	装丁			○	R				dcterms:description			装丁	導入句「装丁:」を付加して取めます。
2-106	360	装丁と定価に関する注記	360B	税込価格				NR				dndiprice			税込価格	「税込価格」の場合、値の末尾に(税込)と付加して取めます。
2-107	360	装丁と定価に関する注記	360C	本体価格				NR				dndiprice			本体価格	「本体価格」の場合、値をそのまま取めます。
2-108	100	一般的処理データ	100A	対象利用者コード				NR				dcterms:audience			対象利用者	「一般」または「児童」を取めます。 ※100Aの先頭18バイト目から3バイトの値が「C」(児童書)の場合を「児童」、それ以外の値の場合は「一般」としています。
2-109	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nW	資料種別			○	R				dndimaterialType	rdfrsource rdflslabel	資料種別	<dndimaterialType rdfrsource="http://ndl.go.jp/nditype/○○" rdflslabel="○○"/> ※以下を参照し、適切なType語彙を取ってください。 参照) 別紙 NDLタイプ語彙一覧 ver.1.1 (2012.9.3) http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2012/09/nditype_ver.1.1_20120903.pdf ・「総合目録共通フォーマット(第3版)」の資料種別等との変換表はこちらをご参照ください。 本表>シート「参考」Type変換表	
2-110	000	レコード管理データ	000_(7バイト目)	レコードの種別			○	R				dcterms:description			レコードの種別	値をそのまま取めます。 【例】266A.1:25000△;△ユニバーサル機械カルトル図法 →[DC-NDL入力例] <dcterms:description>1:25000△;△ユニバーサル機械カルトル図法</dcterms:description>
2-111	123	地図資料の数値データ	123A	縮尺タイプ			○	R				dcterms:description			地図資料の数値データ	123Aの値が「B」の場合のみ、「角度による縮尺」と取めます。 【例】123A.B(=角度による縮尺) →[DC-NDL入力例] <dcterms:description>角度による縮尺</dcterms:description>
2-112	123	地図資料の数値データ	123B	水平率			○	R				dcterms:description			地図資料の数値データ	導入句「水平縮尺:」を付加して取めます。
2-113	123	地図資料の数値データ	123C	垂直率			○	R				dcterms:description			地図資料の数値データ	導入句「垂直縮尺:」を付加して取めます。
2-114	350	一般注記	350A	一般注記				R				dndipublicationPeriodicity			刊行頻度	350Aの値が「刊行頻度:」で始まる場合は、「:」以降の値のみを<dndipublicationPeriodicity>に取めます。 【例】350.刊行頻度:月刊 →[DC-NDL入力例] <dndipublicationPeriodicity>月刊</dndipublicationPeriodicity> ※350Aの値が「刊行頻度:」以外の場合は<dcterms:description>に取めます。この場合、導入句は付加しません。
2-115	918	地図資料の対象地域コード	918A	UTM区画番号			○	R				dcterms:spatial	rdfrdatatype	UTM区画番号	データ型「dndi:UTMNO」を指定して値を取めます。 <dcterms:spatial rdfrdatatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/UTMNO">UTM区画番号の値</dcterms:spatial>	
2-116	918	地図資料の対象地域コード	918B	全国地方公共団体コード			○	R				dcterms:spatial	rdfrdatatype	全国地方公共団体コード	データ型「dndi:JISX0402」を指定して値を取めます。 <dcterms:spatial rdfrdatatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/JISX0402">全国地方公共団体コードの値</dcterms:spatial>	
2-117	918	地図資料の対象地域コード	918E	国際海図番号			○	R				dcterms:spatial	rdfrdatatype	国際海図番号	データ型「dndi:ICNO」を指定して値を取めます。 <dcterms:spatial rdfrdatatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/ICNO">国際海図番号の値</dcterms:spatial>	
2-118	918	地図資料の対象地域コード	918D	各国国内海図番号			○	R				dcterms:spatial	rdfrdatatype	各国国内海図番号	データ型「dndi:NCNO」を指定して値を取めます。 <dcterms:spatial rdfrdatatype="http://ndl.go.jp/dndi/terms/NCNO">各国国内海図番号の値</dcterms:spatial>	
2-119	856	電子資料アクセス情報	856U	URL				R				dcterms:relation	rdfrsource	関連資料	URLをそのまま取めます。 <dcterms:relation rdfrsource="値(URL)"/>	
2-120					○			NR				dndi:BibResource	rdfrabout	著誌データの主題	<dndi:BibResource rdfrabout="●●●#material"> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#materialを付けて取めます。	
2-121					○			R				dndi:record	rdfrsource	著誌データから個体データへのリンク	<dndi:record rdfrsource="●●●#item"/> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#itemを付けて取めます。	

総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)												
項番	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					属性	内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			
3-1					○									dcnd:item	rdf:about	個体データの主題 <dcnd:item rdf:about="●●●#item"> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#itemを付けて取ります。 ※NDLサーチにDC-NDL形式のデータを送付いただく場合は、システム上紐づく個体データ(item)は1つのみでしか受け付けられません。個体データが複数の場合(複本分の個体データが紐づいているなど)は、管理データ-書誌データ-個体データが一対となるようにしてください。 ※管理データ-書誌データ-個体データが一対の場合は、すべて同じURIを用います。 NDLサーチでの書誌同定処理後、同定されたデータは、個体データのみが基本書誌に紐づきます。
3-2					○									dcnd:holdingAgent		
3-3					○									foaf:Agent		
3-4	960	ローカルデータ	960B	所蔵館名	○									foaf:name		所蔵館名
3-5	960	ローカルデータ	960A	所蔵館コード	○		○							dcterms:identifier	rdf:data type	データ型"dcnd:NDLLibCode"を指定して値を取ります。 【例】960A,2911 →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:data type="http://ndl.go.jp/dcnd/terms/NDLLibCode">2911</dcterms:identifier> ※「所蔵館コード」には、960A「所蔵館コード」を取ります。801B「作成図書館コード」は使用していません。
3-6					○									dcnd:seeAlso	rdf:resource	提供元書誌詳細画面のURL <dcnd:seeAlso rdf:resource="○○○"/> ○○○の部分は、以下のいずれかを取ります(順番は優先度です)。 ① OpenURLでのリクエストURL ・キーにはISBN、ISSNを用いてください。 ・ISBN、ISSNがない場合、タイトルをそのほかのID(MARC番号等)より優先してキーとして用いてください。 ② 当該資料の書誌詳細画面URL
3-7	950	各館のユニークなコントロール番号	950A	コントロール番号	○									dcterms:identifier	rdf:data type	データ型"dcnd:somokuBibID"を指定して値を取ります。 【例】950A,91021340 →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:data type="http://ndl.go.jp/dcnd/terms/somokuBibID">91021340</dcterms:identifier> ※ユニークIDがある場合は必ず入力して下さい。
3-8	960	ローカルデータ	960E	所蔵館の図書登録番号	○									dcterms:identifier	rdf:data type	データ型"dcnd:somokuSubID"を指定して値を取ります。 【例】950E,91021340 →[DC-NDL入力例] <dcterms:identifier rdf:data type="http://ndl.go.jp/dcnd/terms/somokuSubID">91021340</dcterms:identifier> ※項番3-7のユニークなID以外に番号が存在する場合に用います。
3-9	960	ローカルデータ	960D	所蔵館の請求記号			○							dcnd:callNumber		【例】960D,216.5-240-7 →[DC-NDL入力例] <dcnd:callNumber>216.5-240-7</dcnd:callNumber> ※NDLサーチにDC-NDL形式のデータを送付いただく場合は、システム上紐づく個体データ(item)は1つのみでしか受け付けられません。請求記号も個体データ(item)と一対になるようにしてください。 個体データ(item)の記載方法については、項番3-1もご参照ください。
3-10	960	ローカルデータ	960F	禁帯出等を示す注記										dcnd:availability		【例】960F,帯出不可 →[DC-NDL入力例] <dcnd:availability>帯出不可</dcnd:availability> ※禁帯出等、ILL申し込みの際に必要な情報を取ります。
3-11	960	ローカルデータ	960G	配置場所										dcterms:description		導入句「配置場所」を付加して取ります。 【例】960G,埼玉資料書庫 →[DC-NDL入力例] <dcterms:description>配置場所:埼玉資料書庫</dcterms:description>
3-12	960	ローカルデータ	960H	資料区分(郷土資料)										dcterms:description		960Hにデータが収録されている場合、文書を「郷土資料」に統一して取ります。 【例】960H,(データが収録されている場合) →[DC-NDL入力例] <dcterms:description>郷土資料</dcterms:description>

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				NDLタイプ語彙			備考
	現行のフィールド	現行のフィールド名	現行のコード値	現行の値・デコード値	変換の値	日本語名(GUIに表示)	メタデータの表現	
1	25nW_	資料種別	/	写本	Book Manuscript	図書 書写資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Book" rdfs:label="図書"/> <dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Manuscript" rdfs:label="書写資料"/>	
	25nW_	資料種別		稿本				
	000_	レコードの種別	B	言語資料で非刊行物				
2	25nW_	資料種別	/	地図資料	Map	地図	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Map" rdfs:label="地図"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別		E				地図資料
3	25nW_	資料種別	/	楽譜	MusicScore	楽譜	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/MusicScore" rdfs:label="楽譜"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別		C				楽譜
4	25nW_	資料種別	/	録音資料	Sound	録音資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/Sound" rdfs:label="録音資料"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別		I				録音資料
5	000_	レコードの種別	J	音楽録音資料	Sound Music	録音資料 音楽	<dcndl:materialType rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/Sound" rdfs:label="録音資料"/> <dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Music" rdfs:label="音楽"/>	
6	25nW_	資料種別	/	映像資料	MovingImage	映像資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/MovingImage" rdfs:label="映像資料"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別		G				映像資料

7	25nW_	資料種別		静止画資料		静止画資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/ StillImage" rdfs:label="静止画資料"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別	K	静止画資料	StillImage	静止画資料		
8	25nW_	資料種別		点字資料		視覚障害者向け資料 点字	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/nddtype/Mate rialsForVisuallyHandicappedPeople" rdfs:label="視覚障害者向け資料"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別	T	視覚障害者用資料	MaterialsForVisuallyHandicappedPeople Braille	視覚障害者向け資料 点字		
9	000_	レコードの種別	T	視覚障害者用資料	MaterialsForVisuallyHandicappedPeople	視覚障害者向け資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/nddtype/Mate rialsForVisuallyHandicappedPeople" rdfs:label="視覚障害者向け資料"/>	
10	000_	レコードの種別	A	言語資料で印刷物	Book	図書	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/nddtype/Book" rdfs:label="図書"/>	25nWが地図資料、楽譜、録音資料、映像資料、静止画資料、点字資料、電子資料のものは除く
11	25nW_	資料種別		マイクロ資料		図書	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/nddtype/Book" rdfs:label="図書"/>	
	000_	レコードの種別	H	マイクロ資料	Book MicroForm	図書 マイクロ資料		
12	25nW_	資料種別		電子資料		電子資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/nddtype/Elect ronicResource" rdfs:label="電子資料"/>	000_がAであっても変換は左記のみ DVD・CDの取り扱いは下記と同様
	000_	レコードの種別	L	電子資料	ElectronicResource DVD・CD	電子資料 DVD・CD		
13	100A_	官庁刊行物コード	H	官庁刊行物	GovernmentPublication	政府刊行物	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/nddtype/Gove rnmentPublication" rdfs:label="政府刊行物" />	※275A_の値の冒頭が"CD"、"DVD"で始まっていた場合、左記のようにDVD・CDも変換して収める。それ以外はElectronicResourceのみ変換する。

項番	シート	変更箇所	変更内容	変更日
1	本表	項番3-1	個体データの主語 「入力例、入力の際ご留意いただきたい点」の記述例に誤記があったため、修正。 誤:<dcndl:record rdf:resource="●●●●#item"/> 正:<dcndl:item rdf:about="●●●●#item">	2013/2/28
2	本表	項番2-121	書誌データから個体データへのリンク 繰り返し項目が誤記であったため修正。 誤:NR 正:R	2013/2/28
3	本表	項番3-9	所蔵館の請求記号 繰り返し項目が誤記であったため修正。 誤:NR 正:R あわせて「入力例、入力の際ご留意いただきたい点」欄に追	2013/3/19
4	凡例	同定キー	改修に伴い、同定キーを修正。 ⑥ ISBN ⇒⑥ ISBN+出版年+タイトルの1文字目	2013/3/22
5	本表	項番2-9-2	標準番号(URI):ISBN(セットコー セットISBNについてURIでの格納方法を追記	2013/3/22
6	本表	項番2-52	内容細目の著者 <dcndl:partInformation>内にタイトル、読み、著者をまとめて格納する場合の例を追記。	2013/4/17
7	本表	項番2-55 項番2-56 項番2-57	他巻ものの各巻のタイトル 他巻ものの各巻のタイトルよみ 他巻ものの各巻の責任表示 「入力例、入力の際ご留意いただきたい点」の記述例に誤記があったため、修正。 誤:<rdf:value> 正:<dcterms:title>	2013/4/17